

兵庫県保険医協会 尼崎支部 医療安全管理・院内感染対策研修会

医院での対策は 万全ですか?

『洗浄・消毒・滅菌』

日時 9月26日(土) 午後2時～4時
 会場 尼崎商工会議所6階601会議室
 (尼崎市昭和通3-96 TEL.06-6411-2255)
 講師 小川 麻由美氏
 (済生会兵庫県病院 感染管理認定看護師)
 定員 60人(定員になり次第締め切り)
 参加費 1,000円(受講された方には受講証を発行します)



医療法により、すべての医療機関に医療安全管理、院内感染対策の体制確保が義務化され、職員の研修を年2回程度実施することが求められています。このたびに尼崎支部では、済生会兵庫県病院のご協力により、外部研修として標記研修会を企画いたしました。

多数の先生およびスタッフの皆様方のご参加をお待ちしております。

お問い合わせは、協会事務局
 TEL:078-393-1805 長澤まで

尼崎支部 医療安全管理・院内感染対策研修会 参加申込書 FAX 078-393-1802

参加者ご氏名	職種	勤務年数
		年
		年
		年
		年

※テーマにかかわるご質問がございましたらご記入ください

医療機関名()
 ご担当者名()
 TEL() FAX()

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

369号

2015年9月15日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
 兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

アスベスト裁判(労災型) 第一回控訴審

「私たちの主張を受けとめて」と遺族が意見陳述



船越先生(写真左)が「裁判の勝利が被害者の救済につながる」、
 八木支部長(写真右)が「5万筆署名を達成しよう」と訴えた

尼崎アスベスト訴訟(労災型)の第1回控訴審が9月7日、大阪高等裁判所で開かれた。この裁判は、溶接工と、クボタ旧神崎工場にアスベストを搬入していたトラック運転手が、それぞれアスベスト曝露が原因で肺がんを罹患して亡くなったため、遺族が規制を怠った国、安全配慮義務を怠ったクボタに対して賠償を求めているもの。

一審の神戸地裁判決は、低濃度のアスベスト曝露によって重大な健康被害が生じるとの医学的な知見が確立していなかったなどとして、国とクボタの責任を否定した。

第一回控訴審では、遺族2人が「アスベスト曝露により主人は苦しみながら亡くなった」「裁判所は私たちの主張をしっかりと受け止めて欲しい」などの意見陳述を行った。

報告集会では、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」の役員を務める、船越正信先生(尼崎医療生協理事長)が「この裁判での勝利が全国のアスベスト被害者の救済につながる」、八木秀満保険医協会尼崎支部長が「5万筆目標の公平・公正な判決を求める署名を集めよう」と訴えた。

次回控訴審12月4日(金)では弁護団から、医学的知見は確立していたことなどについて弁論する。アスベスト署名にご協力いただける先生はご連絡下さい。電話078-393-1809協会事務局・石本まで。

金楽寺健康教室

身近な食材で健康に

7月29日、金楽寺復興住宅で「身近な食材で薬膳」をテーマに健康教室を開催。大塚誠治副支部長(塚口町・大塚整形外科)が講師を務め、住民ら15名が参加した。



クイズや写真を用いて分かりやすく解説

初めに大塚先生は、「牛肉・豚肉・鶏肉の中で一番疲労回復に役立つのはどれか」というクイズを出し、抗疲労物質であるイミダゾールペプチドが多く含まれる鶏肉が疲労回復に役立つと紹介した。

また薬膳では健康の目安を、気(カラダを動かす生命エネルギー)、血(血液の循環)、水(水分バランス、代謝がよい状態)で表すと説明。にんじんマリネ、紫蘇ジュース、白桃と白キクラゲのデザート、参鶏湯風吸い物など、気・血・水を補う食材を使った先生自家製料理を写真を見せながら紹介した。たまねぎやにんじんなど身近な食材を使った料理に、参加者からは「簡単そう」「おいしそう」といった声が聞かれた。

最後に「食は薬。バランスをとって健康維持に努めてください」と締めくくった。

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当; 長澤まで



第500回幹事会だより

8月21日(金) 於 阪急塚口「clover」

- 尼崎支部の会員数
8/20 現在 医科 383 人、歯科 148 人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
県立病院の動向、文化企画、医療情勢などについて意見交換した。
- 次回の幹事会
9月18日に阪急武庫之荘「an 梅」にて開催。

尼崎社保協2015年総会・記念講演

国民健康保険ってどんな制度？

— 目的、しくみ、運用の実態、今日的課題は —

国民健康保険(国保)は公的医療保険のひとつで、国民皆保険を支える根幹となっています。いま医療そして国保の危機が叫ばれています。国保の目的、制度のしくみ、運用の実態、今日的課題をよく知ることが、改善の取り組みの第一歩です。

尼崎社会保障推進協議会は2015年総会を開催します。総会記念講演として、三重短期大学の長友薫輝教授を講師に国民健康保険制度を学習します。

国保運動を前進させるために、多数ご参加下さい。講演会は会員以外の方も参加できます。

日時 9月27日(日)

場所 尼崎市中小企業センター
会議室401号(4階)

総会 午後1時30分より

記念講演 午後2時30分より

「国民健康保険のしくみと制度の問題点」



講師 三重短期大学教授

長友 薫輝 氏

参加費は無料です

長友薫輝氏のプロフィール

1975年岐阜県生まれ。龍谷大学院社会福祉学専攻博士課程単位取得。現在、三重短期大学生生活科学科教授。自治体問題研究所理事。日本医療総合研究所理事などを務める。5月の参院厚生労働委員会で参考人陳述をする。

尼崎社会保障推進協議会

連絡先 南武庫之荘 11-12-1 (尼崎医療生協) 担当・小林 Tel.4962-4920

